

## 執筆者のプロフィール

(とびら)

珠玖 仁 (Hitoshi SHIKU)

東北大学大学院工学研究科 (〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11-605)。東北大学大学院工学研究科博士課程後期3年課程修了。博士(工学)。《現在の研究テーマ》生物電気化学, 走査型プローブ顕微鏡。《主な著書》“三次元培養における培養手法と周辺技術動向”(情報機構): 梨本裕司, 伊野浩介, 平 典子, 珠玖 仁, 細胞計測技術(第3章, 第3節 pp. 83-97)。《趣味》合気道。  
E-mail: Hitoshi.shiku.c3@tohoku.ac.jp

(ミニファイル)

桑本恵子 (Keiko KUWAMOTO)

株式会社堀場アドバンスドテクノ 新製品開発1部 (〒601-8551 京都市南区吉祥院宮の東町2番地)。  
E-mail: keiko.kuwamoto@horiba.com

(トビックス)

岡林識起 (Satoki OKABAYASHI)

関西学院大学理工学部 (〒669-1337 兵庫県三田市学園2-1)。京都大学大学院博士課程修了。博士(理学)。

田代 充 (Mitsuru TASHIRO)

明星大学理工学部 (〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1)。東京大学大学院農学研究科。博士(農学)。《現在の研究テーマ》核磁気共鳴法によるタンパク質-フッ素化合物複合体の解析。《主な著書》“分析化学実技シリーズ「NMR」”(共立出版)(田代・加藤著)《趣味》マラソン, ピアノ。

植草秀介 (Shusuke UEKUSA)

東邦大学薬学部臨床薬学研究室 (〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1)

(リレーエッセイ)

荒川哲大 (Akihiro ARAKAWA)

味の素株式会社バイオ・ファイン研究所 (〒

210-8681 神奈川県川崎市川崎区鈴木町1-1)。千葉大学大学院薬学研究院。博士(薬学)。《現在の研究テーマ》3次元培養組織を用いたミネラルイメージング技術の再生医療領域への応用。

(ロータリー・談話室)

肥後盛秀 (Morihid HIGO)

鹿児島大学大学院理工学研究科化学生命・化学工学専攻工学部化学生命工学科 (〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40)。九州大学大学院工学研究科修士課程応用化学専攻修了。博士(工学)。《現在の研究テーマ》金属薄膜の形態観察と状態分析, 新規 SPR センサーの開発。《主な著書》“表面プラズモン共鳴による連続測定可能な高精度アルコール濃度センサー=テフロン被覆金蒸着ガラス棒 SPR アルコールセンサー”(光アライアンス, 日本工業出版)。《趣味》クラシック音楽鑑賞, 日本史, 日本酒とワイン。  
E-mail: k9063559@kadai.jp

## 新刊紹介

### 高温超伝導の若きサムライたち

—日本人研究者の挑戦と奮闘の記録—

吉田 博・高橋 隆 編

本書は1980-90年代の高温超伝導ブーム時に若手物性研究者だった10名強の先生方が当時の高温超伝導体研究について振り返っている。高温超伝導研究で用いられてきた測定法・分析法を列挙すると, X線回折, 中性子回折・散乱, NMR, ラマ

ン散乱, 光電子分光,  $\mu$ SR などがあり, これらは分析化学の分野においても耳にすることがあるかと思う。高温超伝導ブームの当時, 甚大な数の物質が合成・物性測定され, 数多くの論文が発表されたものの競争の激しさ故に測定の誤りからくる誤報も多く, 本書はそのような状況の中での奮闘記として読むべきではあるが, 高温超伝導研究の魅力・面白さについて語られていると共に, 現代の若手(物性)研究者らにもメッセージを残している。

(ISBN978-4-901496-8・A5判・304ページ・2,000円+税・2019年刊・アグネ技術センター)